

和歌山県農林水産部水産局水産振興課

目的	鮮度保持施設を整備することで、夏場の効率操業による漁獲量の向上				
目標	夏場における底曳き網漁の漁獲量の25%増加	整理番号： 1			
事業実施者	湯浅湾漁業協同組合				
実施地区	広川町唐尾地区				
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度			
	令和2年度	令和5年度			
助成金額	21,200,000円				
事業計画の内容	鮮度保持施設（製氷施設・貯氷施設）の整備				
評価	取組の目標（KPI）	漁業所得			
	基準年	(令和3年度時点)	678,486千円		
	現状値	(令和5年度末時点)	807,896千円	増加率	19%
	目標値	(令和8年度末)	746,335千円	増加率	10%
	成果目標	夏場における底曳き網漁の漁獲量の25%増加			
	現状値	(令和3～5年平均)	52t/年		
	目標値	(令和3～5年平均)	54t/年		
	(1) 現状値の説明	漁業組合が保有する漁獲量を魚種別に集計し、夏場(5月～9月)、夏場以外に分類し、夏場における漁獲量を算出。			
	(2) 地域への経済効果	鮮度保持施設を整備したことで氷の質が改善され、効率操業が可能となったことで、夏場の漁獲量は目標値の54t/年に対し、52t/年と96.3%の達成率である。			
	(3) 所見	成果目標とした夏場の漁獲量は、上段(2)に記載のとおりほぼ達成できている。			
(4) 評価機関の意見等	—				
今後の改善方向等に関する分析	施設整備によって効率操業が実現し、成果目標とした夏場の漁獲量をほぼ達成することができている。今後も施設を適切に維持管理し、効率操業を維持することが重要。				